

## 21 ほどよい距離感って？

～子どもの自立と親の自立～

【ねらい】子どもの自立を適切に支援できるような、親の接し方について考える。

【準備物】学習者：筆記用具

主催者：机、イス、ホワイトボード(2台)、マグネット、CDプレイヤー、筆記用具予備、マイク  
ファシリテーター：ワークシート、アンケート用紙、使用済ポスター、マジック、歌詞カード、CD

時間	活動の展開	留意点	備考
(7分)	プログラムの主旨説明 ファシリテーター自己紹介	・写真を撮る場合は、了解を得る ・主催者のあいさつ時間含む	
(13分)	アイスペイク (雰囲気作り) ・エアーキャッチボール ペアになり自己紹介。相手の名前や子どもの長所を大きな声で言いながら、エアーキャッチボール。 その後、ゲームで円形になり、班分け。	・参加者の移動の時間を含む ・最後のゲームで5～6人のグループ分け ・1グループに中学生の親が必ず入るように ・先生も保護者の班に入る	
(15分)	グループごとに自己紹介  1 P目を読む (ファシリテーター)  <思い出しましょう> 2 P目 ・表の記入 (5分) →班内で意見交換 (8分)  (意見交換の前に3つの約束の説明) (2分)  ・コラムは省略 (各自で読んでもらう)	この間にワークシート配布  ←現実と理想を書き出して見て、我が子に対する見方に気づくきっかけにする  ①発言の平等 ②人の発言を肯定 ③秘密の保守 但し、言いたくないことは言わなくて良い	
(5分)	3 P目 エピソード	事前をお願いしていた保護者 (4名) に読んでもらう	
(25分)	<考えましょう・出し合いましょう> 4 ページ目 ①「今、困っていること」を記入 (5分) →班内で意見交換 (5分) ②「親は子どもにどのような関わりをすればよいか」を記入 →班内で意見交換 (15分) 「わが子の自立をサポートする親の接し方 ○ヶ条」作成	各班にポスターとマジック配布	
(30分)	「わが子と…○ヶ条」発表 各班3分の持ち時間	班ごとに発表 「○ヶ条」をホワイトボードに貼る	
(3分) (10分)	<学習を振り返りましょう> 4 ページ目 ・ワークシートへの記入 ・ファシリテーターの話 (CDを聴いてもらう)	尾崎豊「15の夜」 歌詞カード配布	CD用意
(2分)	・アンケート記入 ・終了 ・片付け		

※展開案は110分で作成